

# JIS

光学及びフotonクスー  
光学ガラスの化学的耐久性の試験方法ー  
第 1 部：耐候性

JIS B 7073-1 : 2026

(ISO 22531 : 2020)

(JOGMA/JSA)

令和 8 年 2 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	田 辺 新 一	早稲田大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	鐘 築 利 仁	一般財団法人日本規格協会
	鎌 田 敏 郎	大阪大学
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	小 山 明 男	明治大学
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	俵 木 登美子	一般社団法人くすりの適正使用協議会
	水 流 聡 子	東京大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	増 井 慶次郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 8.2.20

官 報 掲 載 日：令和 8.2.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本光学硝子工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 080-6860-2040)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 原理	2
5 試験装置	2
5.1 構成	2
5.2 恒温槽	3
5.3 水槽及び蓋	3
5.4 水	3
5.5 かくはん装置	4
5.6 シール	4
5.7 試料ホルダー	4
5.8 試料ホルダースタンド	5
5.9 水槽台	5
6 試料	5
6.1 試料の形状及び寸法	5
6.2 試料数	5
6.3 試験前の試料の表面処理	5
7 試験方法	6
7.1 試験手順	6
7.2 計算	7
8 等級及び呼称	8
9 試験報告書	9
附属書 A (規定) 恒温槽の試験条件	10
附属書 B (規定) 試料の研磨及び洗浄の手順	12
解 説	14

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本光学硝子工業会（JOGMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 光学及びフォトニクス— 光学ガラスの化学的耐久性の試験方法— 第 1 部：耐候性

## Optics and photonics—Test method for chemical durability of optical glass— Part 1: Climate resistance

### 序文

この規格は、2020 年に第 1 版として発行された **ISO 22531** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

### 1 適用範囲

この規格は、光学ガラスの耐候性の試験方法及び等級について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 22531:2020**, Optics and photonics—Optical materials and components—Test method for climate resistance of optical glass (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS K 7136** プラスチック—透明材料のヘーズの求め方

**注記** 対応国際規格における引用規格：**ISO 14782**, Plastics—Determination of haze for transparent materials

**ISO 3585**, Borosilicate glass 3.3—Properties

**ISO 3696**, Water for analytical laboratory use—Specification and test methods

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。